



2025年2月14日

各 位

会社名 株式会社kubell
代表者名 代表取締役兼社長 山本 正喜
上級執行役員CEO
(コード番号:4448 東証グロース)
問い合わせ先 取締役兼上級執行役員CFO 井上 直樹
ir@kubell.com

2024年12月期 通期業績予想と実績の差異及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は2024年11月8日に公表いたしました2024年12月期通期業績予想と実績に差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。2024年12月期において、下記の通り連結決算における営業利益、経常利益は予想を上回り着地、のれん及びその他固定資産の減損損失、投資有価証券評価損による特別損失の計上により親会社株主に帰属する当期純利益は予想を下回る着地となりました。また、個別決算における関係会社株式評価損、貸倒引当金繰入額、債務保証損失引当金繰入額、関係会社事業損失引当金繰入額を計上いたしました。

記

1. 当期の業績予想数値との差異(2024年1月1日～2024年12月31日)

	売上高	EBITDA	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 8,430	百万円 761	百万円 35	百万円 32	百万円 △58	円 銭 △1.42
実績(B)	8,470	856	96	75	△1,172	△28.59
増減額(B-A)	39	95	61	42	△1,114	△27.17
増減率(%)	+0.5	+12.5	+175.4	+129.2	—	—
(ご参考) 前期実績 (2023年12月期)	6,485	△83	△677	△686	△620	△15.45

2. 差異の理由

(1) 営業利益、経常利益(連結)

Chatwork課金ID数の増加に伴い売上高が想定よりも上回った事、業務委託費、人件費等の販売費及び一般管理費が想定よりも減少した事等により営業利益は2024年11月8日に公表いたしました業績予想比+175.4%と大幅な上昇となりました。

(2) のれん及びその他固定資産の減損損失(連結)

当社は、ビジネスチャット「Chatwork」の顧客基盤を活かすとともに、お客様に本質的なDXを提供することを目的に、新たな成長の柱として、BPaaS(Business Process as a Service)事業の展開を進めています。

2024年4月に、BPaaS事業の経営効率化や市場環境の変化に柔軟に対応できる機動的な事業運営を実現することを目的に、BPaaS事業の中核を担う子会社として株式会社kubellパートナーを設立いたしました。

また、本日開示しております「当社グループ内における経営統合(略式合併による吸収合併)に関するお知らせ」のとおり、BPaaS事業の拡大に向けたグループ体制の再構築として、株式会社kubellパートナーと株式会社ミナジンは、2025年7月1日を効力発生日として、株式会社kubellパートナーを存続会社、株式会社ミナジンを消滅会社とする吸収合併の方法により合併することを決議しております。

これらのグループ体制の再構築を見据え、経営資源の最適配分を実現すべくBPaaS以外の事業も含めた各事業の計画の精査・見直しを実施した上で、株式会社ミナジン、株式会社kubellストレージの企業結合時において発生したのれん及びその他固定資産について固定資産の減損に係る会計基準に基づき回収可能性を検討した結果、減損損失1,249百万円を計上することといたしました。なお、本決定はキャッシュフローに影響を与えるものではなく、当社の財務基盤の安定性には変わりございません。

(3) 投資有価証券評価損(連結)

当社が保有する投資有価証券について、財政状態や今後の見通しについて検討を行った結果、投資有価証券評価損として44百万円を特別損失に計上することといたしました。

(4) 関係会社株式評価損(単体)

当社は、当社連結子会社である株式会社kubellパートナー及び株式会社kubellストレージの財務状況や今後の見通しを精査し、関係会社株式評価損1,590百万円を特別損失として計上いたしました。なお、個別決算における関係会社株式評価損は連結決算では消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

(5) 貸倒引当金繰入額、債務保証損失引当金繰入額、関係会社事業損失引当金繰入額(単体)

当社は、当社連結子会社である株式会社kubellパートナー及び株式会社kubellストレージの財務状況や今後の見通しを精査し、同社への債権について貸倒引当金繰入額773百万円、債務保証損失引当金繰入額121百万円、及び関係会社事業損失引当金繰入額35百万円を特別損失に計上いたしました。なお、個別決算における貸倒引当金繰入額、債務保証損失引当金繰入額、関係会社事業損失引当金繰入額は連結決算では消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

以上